（公財）明治安田こころの健康財団　研修講座
こころの臨床・専門講座2（26102）

11/29
（日）

ひきこもり・不登校の理解と支援

企画講師
大正大学　名誉教授

近藤　直司先生

日時	2026年11月29日（日） 10時～16時15分
費用	8,500円（税込）
定員	96名
会場	明治安田こころの健康財団 講義室 住所：東京都豊島区高田3-19-10 ＪＲ山手線、西武新宿線、 東京メトロ東西線「高田馬場駅」より 徒歩約7分
申込	財団HPより申込み受付 期限：11月27日（金）まで

セレクト講座８

◆当財団は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として
（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を
受けております。　<承認期間：2022年7月2日～2027年7月1日　承認番号：20210392>

ひきこもり・不登校の理解と支援

本講座は、青年期ひきこもりケースのアセスメントと支援をテーマとしています。まず、受診・来談に至った本人をアセスメントする枠組みとして、「ひきこもりケースの包括的アセスメント」（近藤、2017）とその活用について解説します。その際、ナルシシズム、シゾイドなどのパーソナリティ論、とくに不安の性質を重視します。また、支援の現場で常に課題となる家族相談について解説します。さらに、80／50問題、家族内の暴力を伴うケースについても取り上げたいと思います。

加えて、ひきこもり問題を「アイデンティティ拡散」として捉え直し、E・エリクソンの治療論を振り返ってみたいと思います。また、エリクソンの心理社会的発達論（漸成発達論）に準拠して、アイデンティティ形成の基盤となる乳幼児期から学童期の支援について概説します。対応困難なケースに向き合う援助者の多くは、「もっと早い時期にできることがあったのではないか」という思いを抱きます。発達論に立ち戻ってみることが、そのヒントになると思います。中学生年代の不登校についても、必要以上に複雑化させない、不登校の状態にあっても成長・発達できる、という観点から支援のあり方を考えてみたいと思います。

【企画講師】近藤　直司

	時間	テーマ／講師
プログラム	10:00～11:00	「ひきこもりケースの包括的アセスメント」とその活用
	11:00～12:00	家族相談、暴力を伴うケースの支援、80/50問題
	12:00～13:00	～ 休　憩 ～
	13:00～14:20	アイデンティティ拡散とE・エリクソンの治療論
	14:35～16:15	ひきこもりの予防的早期支援を考える

＜注意事項＞
・時間割・テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

★参考図書★

◆近藤直司：青年のひきこもり・その後 包括的アセスメントと支援の方法論．岩崎学術出版社、2017
◆近藤直司：ひきこもり問題を講義する．岩崎学術出版社、2019
◆S・シュライン：クリニカル・エリクソン その精神分析の方法：治療的かかわりと活性化．誠信書房、2018

【主催】公益財団法人 明治安田こころの健康財団
【照会先】〒171-0033　東京都豊島区高田3-19-10　E-mail：moushikomi@my-kokoro.jp
TEL：０３－３９８６－７０２１　ＦＡＸ：０３－３５９０－７７０５